

20201採石業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2020	1	17 ～ 18	採石工場内で、ジェットバーナーを使った岩石の切断作業を終えて、機械を止めるために坂道を登っていたところ、突然背中に激痛を感じて呼吸ができなくなり、けい肺症、右気胸を負った。	58	12	711	1 ～ 9
2	2020	1	13 ～ 14	工場プラント内製品コンベアーで清掃作業中、蛇行調整でプーリーベアリングが動かなかったため、モンキーレンチで調整部分を叩きその反動でモンキーレンチが巻き込まれ、手を離れたが右手が回転しているテールプーリーの淵に当たり、右手親指と人差し指の間に挫傷を負った。	46	8	224	1 ～ 9
3	2020	3	15 ～ 16	砕石場内を徒歩で移動中、法面を下って降りようとして足を踏み外し、転倒して右手首を骨折した。	54	2	711	10 ～ 29
4	2020	4	17 ～ 18	採石場内現場で、重機の視界が悪いため、窓の清掃をしている際、足を滑らせ高さ2mから落下した。着地場所に石があり、左足を強打して、左足関節を脱臼骨折した。	23	1	141	1 ～ 9
5	2020	4	15 ～ 16	採石場内プラント設備の修理作業で、粉碎機の強度を高めるため、中で溶接作業を行っている際、バーナーが着火し、左足に当たり、左下腿部第2度熱傷を負った。	63	11	331	1 ～ 9
6	2020	4	13 ～ 14	採石場内で、鉄製コルゲートを移動式クレーンで吊り上げ中、左手薬指を鉄板に挟んで裂傷を負った。	72	7	211	30 ～ 49

7	2020	4	13 ～ 14	ベルトコンベアの商品を調節するため、ボルトを外そうとしたとき、 右手がコンベアに巻き込まれて、右腕骨骨幹部骨折、右手前腕皮膚剥 脱創を負った。	43	7	224	30 ～ 49
8	2020	5	9 ～ 10	砕石プラント工場で、ベルトコンベア付近の修理を手伝うため、アー ス線を移動しようとしてH鋼を台にして乗った際、バランスを崩して左腕 をついて転倒し、左ひじを骨折した。	45	1	418	10 ～ 29
9	2020	5	14 ～ 15	回転中のテールローラ居付きを除去する作業中、山型鋼がベルトと ローラ間に巻き込まれ、右手も巻き込まれそうになり、慌てて抜いた 際、右手首靭帯損傷、右腕橈骨を折った。	35	7	121	10 ～ 29
10	2020	6	9 ～ 10	場内で運搬作業中、粘土物質を排出していた際、粘土物質がダンプ内 に残っていたためフロント部分が宙に浮いた。その弾みで粘土物質が 排出され、一緒に地面に落下して腰を強打し、圧迫骨折を負った。	71	3	221	10 ～ 29
11	2020	6	6 ～ 7	通勤船に乗船中、船長が脇見操縦をしたため、湾内に設置してある灯 浮標に船が接触し、腰部に打撲、脊柱管狭窄症を発症した。	53	3	239	30 ～ 49
12	2020	7	15 ～ 16	バックホーで、整地作業後、重機から降車する際、足が滑り、後ろ向 きに転倒した。このとき、首に打撲を負った。	72	1	711	10 ～ 29
13	2020	7	10 ～ 11	採石場内にあるベルトコンベアーを手作業で部品交換を行っている 際、体が攣る症状が出たので木陰で休んだが、めまい等で気分が悪く なり、熱中症を発症した。	48	11	715	1 ～ 9
14	2020	8	11 ～ 12	工場で、インペラクラッシャーの内部点検作業時に、開閉部分を完全 に開いた状態にしておらず、徐々に閉まってきたと思われ、右足ふく らはぎ、太腿を挟まれ、圧挫傷を負った。	43	7	162	1 ～ 9
15	2020	8	9 ～ 10	選別装置足場台で、はしごから下りる際、高さ3m付近から転落し、 背中と腰に打撲を負った。	30	1	371	1 ～ 9

16	2020	9	16 ～ 17	2次プラントのベルトコンベア上で、ベルトコンベア前のシュートに詰まった石を取り除く作業をしているとき、鉄筋棒でつついた拍子に前のめりに倒れた。その際、稼働中のコンベアに乗ってそのまま運ばれ、破碎機の足場へ足から3～4m落下し、頭部裂傷、第6頸髄脱臼骨折を負った。	70	1	224	1 ～ 9
17	2020	9	13 ～ 14	砕石プラント操作中、ベルトコンベアーと台座の間に異物を確認し、機械停止後異物除去するところ、回転中のまま異物を除去しようとして、手を差し入れた際、腕から体全体が機械に巻き込まれ、外傷性窒息により死亡した。	46	7	224	1 ～ 9
18	2020	9	7 ～ 8	始業前プラント（ベルトコンベア）の点検中、動いているコンベアのキャリアローラーに付着した粉を落としたところ、その粉がコンベアの腹部に入り込み、テールプーリーに付着したためコンベアが蛇行した。その際、急いでテールプーリーに付着した粉を取り除こうと手を入れたところ巻き込まれ、左上腕部を骨折した。	41	7	224	30 ～ 49
19	2020	9	11 ～ 12	ダンプを点検中、左後輪のタイヤ間に石が挟まっているのに気付き、ハンマーで取り除く作業をしていたところ、内側のタイヤがバーストして、風圧が直接顔に当たり1m程飛ばされ、顔面打撲、鼓膜損傷を負った。	53	15	221	10 ～ 29
20	2020	10	14 ～ 15	工場構内で砕石製品の製造作業中、テールプーリーに付着した砂を右手で直接除去しようと回転中のテールプーリーに手を入れたところ、右手を巻き込まれて右手首骨折、靭帯断裂を負った。	57	7	224	10 ～ 29
21	2020	10	7 ～ 8	砕石場で、ダンプ荷台で製品落とし口を開けた後、運転席に戻る際に足を滑らせて地面に落ち、右肩に筋挫傷を負った。	58	1	221	50 ～ 99
22	2020	10	7 ～ 8	砕石工場プラント内で始業点検中、足場の固定が外れ、安全帯を装着していなかったため転落して、左腕を骨折した。	34	1	411	10 ～ 29
			10					10

23	2020	10	～ 11	作業場内で、地上2m程の足場を渡っていた際、足を踏み外して地上に落ち、腰椎圧迫骨折、肩甲骨を折った。	70	1	411	～ 29
24	2020	11	～ 15	プラント内の作業現場で、重機（砕石仕様機）の運転席へ上がる際に、足を滑らせて地面に落下し、左膝を骨折した。	61	1	145	50 ～ 99
25	2020	11	～ 16	砕石製造工場で、堆積土砂を清掃除去するため、高圧水洗洗浄作業をしていたところ、ホースを引いた際、重量と弾性により腰部に重圧が加わり、急性腰痛症を発症した。	62	19	391	1 ～ 9
26	2020	11	9 ～ 10	砕石プラントで、ベルトコンベアのトンネル内を点検運転中、安全カバーが付いていないテールプーリーの傍で、ベルトからはみ出たタレゴムを直す作業中、何らかの理由でコンベア内部に倒れたと思われ、頭部を巻き込まれて脳挫傷で死亡した。	47	7	224	10 ～ 29
27	2020	11	8 ～ 9	工場内で、各コンベアベルトを点検して回っていたら、1-5振動スクリーンホッパー下のコンベアベルトのキャリアローラに触ったら、ローラーとベルトの間に右腕を巻き込まれ、右腕・左肩に創傷を負った。	62	7	224	10 ～ 29
28	2020	12	～ 14	砕石場の作業道で、フォークリフトでコンクリートブロックを運搬中、法面に乗り上げフォークリフトが横転した際、投げ出されて、外傷性骨盤骨折で死亡した。	76	2	222	1 ～ 9

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。